

志賀原子力発電所2号機 ブローアウトパネルの一時的な開閉について

志賀原子力発電所2号機（第3回定期検査中）において、2024年11月7日（木）9時26分から空調設備点検のため、原子炉建屋・タービン建屋送排風機を停止していたところ、15時50分、原子炉建屋5階北壁の東側ブローアウトパネル※¹の上部付近に開き（最大5cm程度）が生じていることを確認しました。

その後、19時11分、原子炉建屋・タービン建屋送排風機を起動したところ、通常の閉止状態に復帰しました。

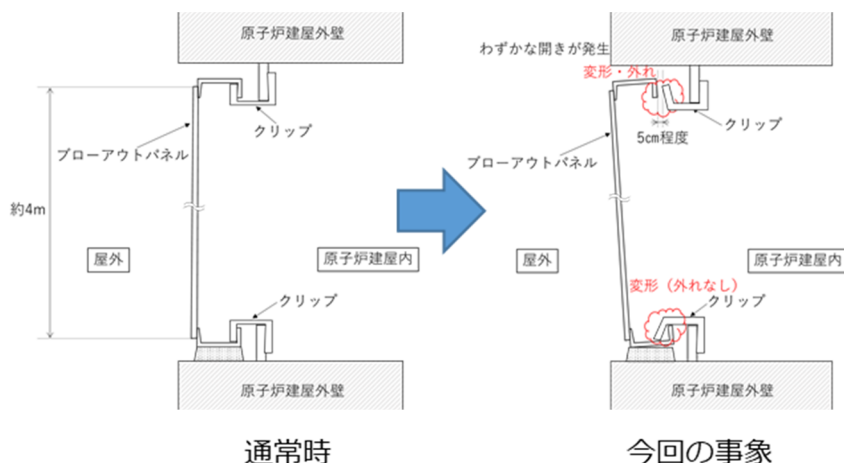
ブローアウトパネルの上部付近に開きが発生した原因は、今年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の影響により、ブローアウトパネルのクリップ※²に変形等が生じていたことから、今回の原子炉建屋・タービン建屋送排風機の停止にともなって、建屋内の負圧※³がなくなり、わずかな開きが発生したものと推定しております。

本事象による外部への放射能の影響はありません。（11月8日お知らせ済み）

変形等が確認されたクリップは、予備品と交換を行い、復旧しました。

今回の事象を受けて、地震後のブローアウトパネルの点検等について改善を図っていきます。

- ※1 ブローアウトパネル：配管からの蒸気の漏えい等により原子炉建屋内の圧力が高くなった場合に機械的に自動で開放し圧力を下げる装置
- ※2 ブローアウトパネルのクリップ：ブローアウトパネルが開放しないように保持する止め板
- ※3 建屋内の負圧：原子炉建屋・タービン建屋送排風機を運転し、原子炉建屋内の圧力を負圧にすることで放射性物質を外部へ放出させないようにしている



ブローアウトパネル概要図